

第 800 回 新潟医学会例会/R6 年度新潟大学医学助成金採択者講演会 (zoom 開催)

第 800 回新潟医学会・オンライン講演会を下記の要領によって開催致しますのでご案内申し上げます。
大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎します。参加料は無料です。
ZOOM URL については新潟医学会事務局にメールでお問い合わせください。

日 時 令和 8 年 1 月 15 日 (木) 18:00 から

新潟医学会集会幹事

座 長 吉原 弘祐 先生 (新潟医学会集会企画委員長)

1. 特別講演 (18:00~18:30)

「CKD に関する全身疾患の包括的管理と診療連携」

山本 順 先生 (腎・膠原病内科学 教授)

慢性腎臓病 (CKD) は成人の 5~7 人に 1 人が罹患する国民病である。近年の治療進歩は末期腎不全の抑制に加え、心血管病をはじめとする全身疾患の管理にも及ぶことが期待される。しかし、CKD が進行するとウレミックトキシンの蓄積により心血管障害、骨折、認知機能低下、皮膚搔痒症、アミロイドーシスなど多彩な合併症を呈し、治療に難渋する。腎臓内科医は他診療科と連携し、包括的に全身管理を行うことで CKD 患者の予後や ADL・QOL の改善を目指すことが重要である。

2. 特別講演 (18:30~19:00)

「DEAD-box 型 RNA ヘリカーゼ Ddx20 によるオリゴデンドロサイト分化および恒常性維持機構と、その破綻に伴う中枢神経系環境変容の解明」

備前 典久 先生

(前 神経解剖学 助教)

/ 現 京都大学総合解剖センター)

オリゴデンドロサイト (OL) は中枢神経系に属するグリア細胞の一種であり、神経軸索を被覆するミエリン (髓鞘) を形成して跳躍伝導による神経伝達の高速化を担うとともに、乳酸供給などの代謝的支援および構造的支持を通じて軸索の維持・保護に寄与する。近年、OL の機能異常は、従来のミエリン形成不全や脱髓性疾患に加え、各種神経変性疾患や精神疾患の病態にも関与する可能性が指摘され、注目を集めている。本講演では、我々が同定した OL の発生・分化に必須な DEAD-box 型 RNA ヘリカーゼ Ddx20 に焦点を当て、OL 分化および恒常性維持を支える分子機構とともに、その機能破綻が脳・脊髄内の細胞環境に及ぼす影響について報告する。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大学院特別講義

(連絡先) 新潟医学会事務局

TEL 025-227-2032

e-mail igakukai@med.niigata-u.ac.jp